

2012年(平成24年)6月3日(日曜日)

佐賀市

佐賀大で
生態系の保

全や資源循環を学ぶ学生
たちが、段ボール箱を使
った生ごみの堆肥作りに
挑戦している。完成した
堆肥は学内の緑化に活用
する計画。同大が昨年か
ら取り組む環境教育プロ
グラムで農、理工、経済
学部などから約20人が参
加。武雄市で飲食店を經
営する下田代満さん(63)
が講師を務め、落ち葉や
米ぬかなど身近で手に入
りやすい材料を使った手
法を紹介した。

学生たちは2人1組で
水分量などを慎重に計算
しながら、強度を高めた
段ボールに材料を入れ、

段ボールでコンポスト 佐大



水分含有量など、温度の上昇に必要な条件の説明を受ける学生たち＝佐賀市の佐賀大学本庄キャンパス

丹念に混ぜ合わせた。経済学部2年の池田奈緒子さん(20)は「実際にどれくらい生ごみが処理できるのか興味深い」と話した。

指導する染谷孝助教授は「緻密な計算と毎日手入れする忍耐力が必要。体験を通して社会人に大切なことも学べる」と期待する。

(大橋諒)